

日本語教育充実へ 湖西市に提言書

推進会議

湖西市の日本語教育の在り方を検証する市日本語教育推進会議(会長・坂本勝信常葉大教授)がこのほど、市と市教委に提言書を提出した。写真。多数の外国人市民が暮らす同市で多文化共生を進めるため、日本語教育施策の方針作成や支援の体系化、地域のコーディネーター配置など7項目を提言した。

同会議は学識経験者や日



本語教育コーディネーター、湖西国際交流協会などの委員6人で構成。本年度に発足し、計4回の会合で提言書をまとめた。坂本会長らが市役所を訪ね、影山剛士市長と渡辺宣宏教育長に提言書を手渡した。

提言は、外国人市民の子どもに対する初期支援の強化や、高校生年代で就学や就労をしていない外国人市民の居場所づくり、生活に必要な日本語を習得できる成人向けコースの改善などを示した。関係機関をつなぐ地域日本語教育コーディネーターの配置や、日本人市民と外国人市民の交流促進なども記載し、先進的な自治体の事例などを踏まえて市のビジョンを策定するよう提言した。提言書を受け取った影山市長は、「今の時代に合った形の拡充を、できることから実現していきたい」と述べた。